

1日目の原爆ドーム、平和記念資料館では長さ約3メートルという小さな原爆が罪のない人々を殺し、町の風景を壊したことが展示物から分かり、心がしめつけられました。2日目の平和記念式典では、昨年の広島土砂災害で1人の友達を失った小学校6年生2人による「平和への誓い」がありました。大切な人を突然なくした時の気持ちはすごく悲しいものだと思います。だから今、僕が何事もなく平和であることがどれほど有難いことかを実感しました。広島に原爆が投下されてから、今年で70年が経ち被爆者の平均年齢が80歳を超えたと聞きました。年々戦争体験者が減っていくなかで、世界唯一の原爆が投下された国として、広島、長崎の恐ろしい記憶を忘れることなく、次の世代へと語り継いでいく必要性を強く感じました。また、学校の授業だけでは知ることのできなかつたことを多く知ることができ、この2日間は僕にとって貴重な体験となりました。